



せんだんの木がシンボル 中央小学校



紹介者



伊藤 峻くん(6年)

中央小学校は市内で一番規模が大きい学校です。約八百人の友だちが学んでいて、いろいろな学習をしています。例えば、旭農高のお兄さんたちには、さつまいもの植え方や米作りの仕方を実際に教えていただいたり、A.L.Tの先生方と楽しく英語を学んだりします。修学旅行では鎌倉市内をグループごとに行動したり、箱根の石畳を昔の人の気持ちになつて歩いたり、宿泊体験学習ではカヌーやキャンプ、ファイヤーなどをしたりして、共同生活のルールやマナーについて学んでいます。秋になると、運動会、全校徒歩遠足、親子芸術鑑賞会、音楽集会などを行い、教室では味わうことができなことを体験します。



▲せんだんの木が表紙の通知表

皆さんは、「せんだん」の木を知っていますか？せんだんは、中央小のシンボルとして親しまれていて、校歌にも歌われていますし、通知表の表紙にもなっています。「せんだんは二葉より芳し」。発芽したばかりのせんだんの新芽は、二葉のころからとても良い香りを放つと言われています。立派な人物や社会のために活躍している人物は、幼いころから優れている何かを兼ね備えており、それを「せんだん」に例えているという話を聞いたことがあります。そのせんだんが学校に植えられている理由も、「もしかしたら、友だち全員がせんだんのように素晴らしい可能性を秘めた人になることを願って植えられたのかも知れない」と、ぼくは思います。現在、校庭や中庭に18本のせんだんが植えられています。そして、昨年の秋に落ちた種から、たくさんのお新芽が出ていて、その数は二百を超えています。ぼくにとって中央小は、人間として、とても素晴らしいことを数多く学ぶことができる所です。卒業するまでの約半年間、「人として素晴らしいこと」をたくさん学び、夢と希望を抱いて中学校に進みたいと思います。

データシート

人のうごき

〔8月1日現在〕	前月比
人 □ 71,522人	(- 5人)
男 34,953人	(± 0人)
女 36,569人	(- 5人)
世帯数 23,760世帯	(- 10世帯)

〔7月分の移動〕

転入 111人	出生 43人
転出 117人	死亡 42人

火災

〔7月分〕	今年の累計
建物火災 0件	(13件)
その他火災 1件	(19件)

交通事故

〔7月分〕	今年の累計
事故件数 182件	(1,149件)
死亡者数 0人	(2人)

私たちも頑張っています！

銚子商業野球部



左から星野 宏奈さん(2年・旭一中)
三好恵利子さん(1年・飯岡中)

千葉県代表として甲子園出場の切符を手にした銚子商業高校硬式野球部には、今号の表紙で紹介した7人の旭市出身の選手(県大会での登録選手)がいます。そんな選手たちが試合で活躍を

し、市民の皆さんを喜ばせるようなプレーができるように、選手たちを支えるマネージャーとして、2人の旭市出身の生徒が活躍しています。